

海とにんげん & SOS

2026.3.31

Vol.52

全国海女サミット2026



日本列島海女さん大集合

「全国海女サミット2026 in 鳥羽」

2026年2月24日、鳥羽市にて「全国海女サミット2026」が開催されました。鳥羽市・志摩市をはじめ、県外からは石川県輪島市、山口県長門市からも参加し、約50名の海女が集まりました。

講演では、三重大学大学院生物資源学研究所の松田浩一教授が「海女を取り巻く状況」について登壇。昨年、黒潮大蛇行の収束が発表されたことを受け、その後の海水温の変化が海女漁に与える影響について、国崎町や石鏡町など南鳥羽の事例を交えて解説しました。

また、鳥羽市健康福祉課からは海女さんの健康問題に関する講話があり、毎日のストレッチの重要性や食事面でのアドバイスが伝えられました。

石川県輪島市の海女からは、令和6年能登半島地震での被害に対する支援へのお礼と、地震後の海女漁の状況報告がありました。港の復旧や海の回復にはまだまだ時間がかかりそうですが、去年の7月にモズク漁やアワビ・サザエ漁が再開され約150人の海女が漁に出たという嬉しい報告を聞くことができました。

最近の海女サミットの大きな魅力となっているのが、海女さん同士のおしゃべりの時間。グループに分かれ、おやつを囲みながら、まるで海女小屋にいるような雰囲気です。語り合います。潜り方、獲るものや量、道具の呼び方など、地域によって少しずつ異なる点に耳を傾け、自分の経験を伝え合うこの時間は、海女でなくても新しい発見があり、参加者の楽しみの一つとなっています。

海女を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。黒潮大蛇行の収束とともに、海女漁に明るい兆しが見えてくることを願うばかりです。



| | | |
|---------------------|---------------|--|
| ウナギのはなし3 2～4P | 東京大学名誉教授 大竹二雄 | 特別展 「ふのりと日本人暮らしを繋ぎ 文化を繋ぐ海藻。」 ... 6P |
| 鰯其ノ他魚族の供養塔 5P | | 企画展 「末は社長か大臣か？出世魚～名前を変える魚たち～」 7P |

鳥羽市立

 海の博物館

公益財団法人 東海水産科学協会

発行日/52号 令和8年3月31日
発行所 / 〒517-0025

三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68
鳥羽市立 海の博物館・SOS運動本部
TEL 0599 (32) 6006

編集人/平賀 大蔵
印刷所/株式会社アイブレーン
購読料/年間1500円 季刊発行送料含
郵便振替口座/00830 6 92330
ホームページ/ <http://www.umihaku.com>